

2024年度実験動物関係教職員高度技術研修

【マウス以外の実験動物の生殖工学技術に関する高度技術研修】実施要領

1.目的

ライフサイエンスの発展には研究機関等における動物実験の果たす役割がますます重要となっている。動物実験の内容は科学技術の急速な進展に伴って高度化と複雑化が飛躍的に進み、分野横断的な共同作業の機会も増加している。大学等の実験動物関係者に対し実験動物や動物実験に関する幅広い高度な知識と技術を習得させ、自己開発能力を高めるとともに、実験動物福祉の向上に貢献できる新たな知識を習得する機会を提供することは、教育・研究の発展に資するものである。

本研修では、マウス以外の実験動物、特にラットの生殖工学技術に関する高度技術研修を行う。さらに、ラットのゲノム編集法およびゴールデンハムスターやマーマセット、ブタの生殖工学についても外部講師による講義を実施する。

2.主催

国立大学法人京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設

国立大学法人熊本大学生命資源研究・支援センター

3.企画

国立大学法人動物実験施設協議会

4.研修方法、期間、日程

(1)研修方法：現地での実習・講義

場所：京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設

〒6106-8501 京都市左京区吉田近衛町

(2)期間：2024年10月22日(火)～2024年10月25日(金)

(3)日程：別紙のとおり

5.研修対象者

国立大学法人及び大学共同利用機関法人のうち、技術職員及び非常勤職員を対象とする。マウスなどの胚操作の経験がある方が望ましい。

6.募集人数

10名程度

7.申し込み、決定

(1)申し込み

各機関及び各施設の長は、研修希望者を別紙様式(1,2)により、**2024年9月20日(金曜日)(必着)**までに、熊本大学生命資源研究・支援センター長に推薦する。なお、希望者複数の場合は優先順位を付すこと。

※送付先：iys-senter@jimu.kumamoto-u.ac.jp

(熊本大学生命科学先端研究事務課センター事務チーム 担当：坂本)

※「別紙様式1,2」は、国立大学法人動物実験施設協議会ホームページ

<https://www.kokudoukyou.org/index.php> 「高度技術研修会案内」よりダウンロードができます。

(2)決定

熊本大学生命資源研究・支援センター長は、前項により推薦された者の中から研修生を決定し、各機関及び各会員施設の長に通知する。

8.研修課題及び内容

(1)研修課題

マウス以外の実験動物の生殖工学技術に関する高度技術研修

(2)研修内容

本研修では、マウス以外の実験動物、特にラットの生殖工学技術に関する高度技術研修を行う。ラットの生殖工学技術はマウスに比べて遅れていたが、近年ラットにおいても精子や胚の凍結保存、凍結精子からの体外受精、体外受精胚や凍結胚からの個体復元が可能となってきた。マ

ウスとは異なる試薬や方法を用いる必要があり、この研修でラットの生殖工学技術の習得を目指す。また、齧歯類の生殖工学技術の概論から始まり、ラットのゲノム編集技術やゴールデンハムスター、マーモセット、ブタについてもその生殖工学技術やゲノム編集動物作出法を、第一線の研究者の講義を受講することで、マウス以外の実験動物の生殖工学技術についての知識を習得できるようにする。我が国には文部科学省が支援する、様々な研究用生物のリソースを収集・保存・提供を行うナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）の拠点があるが、京都大学が代表機関を務める NBRP ラットについて紹介し、研究に役立つラットリソースの入手方法についても情報共有を行う。本研修を通してマウス以外の実験動物の研究利用について意見交換と相互交流をはかる。

9.経費

研修料は無料とし、研修旅費は熊本大学生命資源研究・支援センターにおいて負担する。

10.修了証書

この研修の所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。